

熊本市本庁舎等に関する市民アンケート報告書【概要版】

1. 調査目的・方法等

(1)調査目的

よりよい本庁舎等の在り方を検討するため、現庁舎の利用状況や本庁舎等は今後どうあるべきかということについて、市民の皆様のご意見を伺うもの。

(2)調査期間

令和5年(2023年)9月11日(月)～令和5年(2023年)9月30日(土)

(3)調査方法及び調査対象者

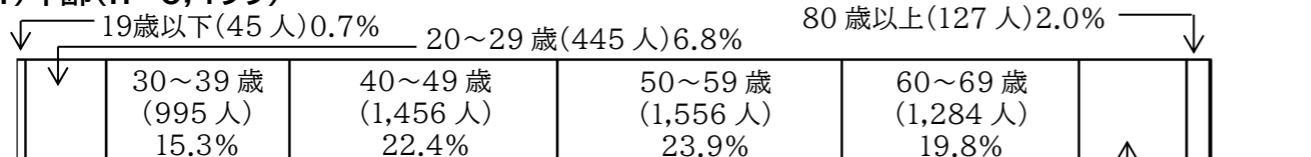
- ① 郵送アンケート:本市在住、年齢が満18歳以上の方2,000人を無作為抽出
- ② WEBアンケート及び紙アンケート:どなたでも回答可

(4)回収数

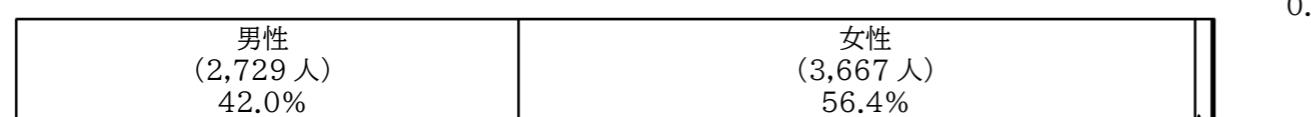
- ① 郵送アンケート:653票
- ② WEBアンケート:5,566票、紙アンケート:280票 小計5,846票
- 合計(①+②)=6,499票

2. 回答者の基本情報

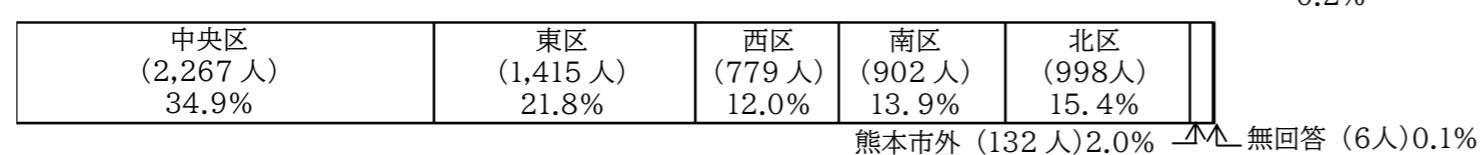
(1)年齢(n=6,499)



(2)性別(n=6,499)



(3)お住まい(n=6,499)



3. 本庁舎等の利用状況

■ 過去1年間で本庁舎等を利用した方は、全体の71.5%

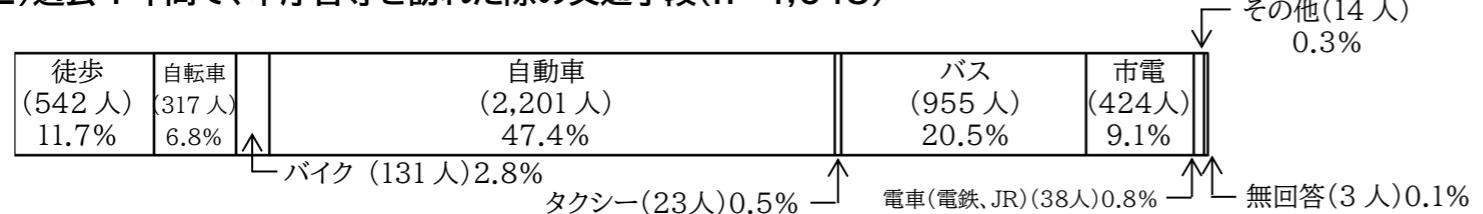
■ 利用者の約半数が自動車で、約3割が公共交通機関で来庁

(1)過去1年間で、本庁舎等を訪れた回数(n=6,499)



全体の71.5%(4,648人)が利用

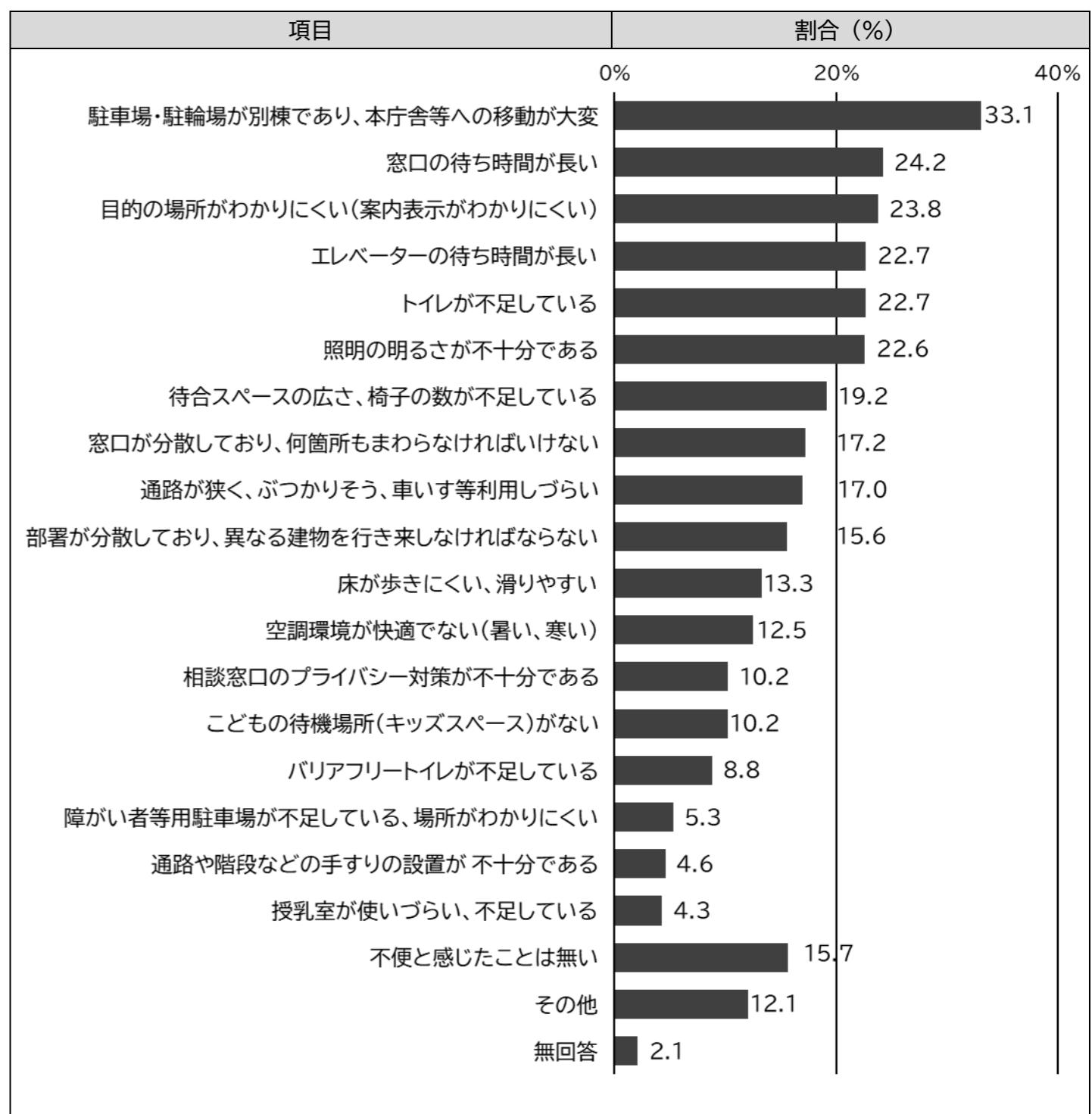
(2)過去1年間で、本庁舎等を訪れた際の交通手段(n=4,648)



4. 本庁舎等の利用時に不便に感じていること

■ 本庁舎等の利用時に不便に感じていることは、駐車場からの移動、窓口・エレベーターの待ち時間の長さ、案内表示のわかりにくさ、トイレの不足、照明の暗さなどの割合が高い。

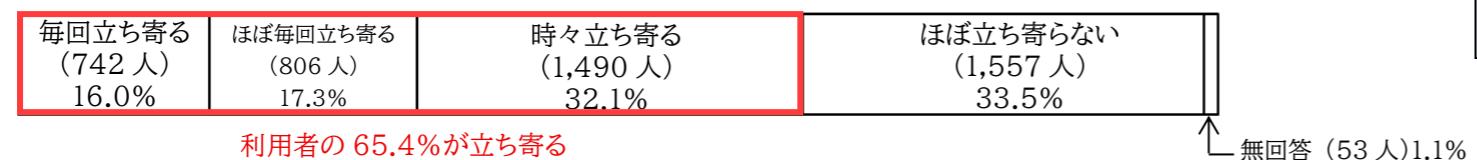
(1)本庁舎等を訪れた際に、不便に感じたことや困ったこと(n=4,648)



5. 本庁舎等の利用時における近隣商業施設等の利用状況

■ 利用者のうち 65.4%が、本庁舎等の利用時に近隣の商業施設や飲食店等へ立ち寄っている。

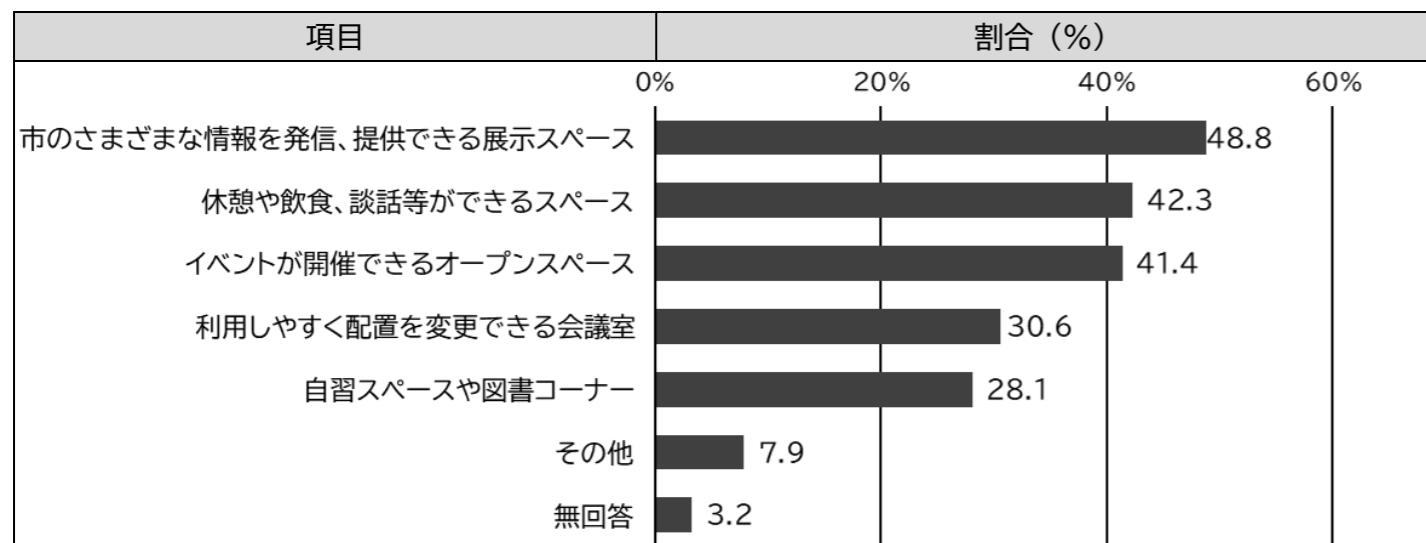
(1) 本庁舎等利用時に、付近の商業施設や飲食店などに立ち寄るか(n=4,648)



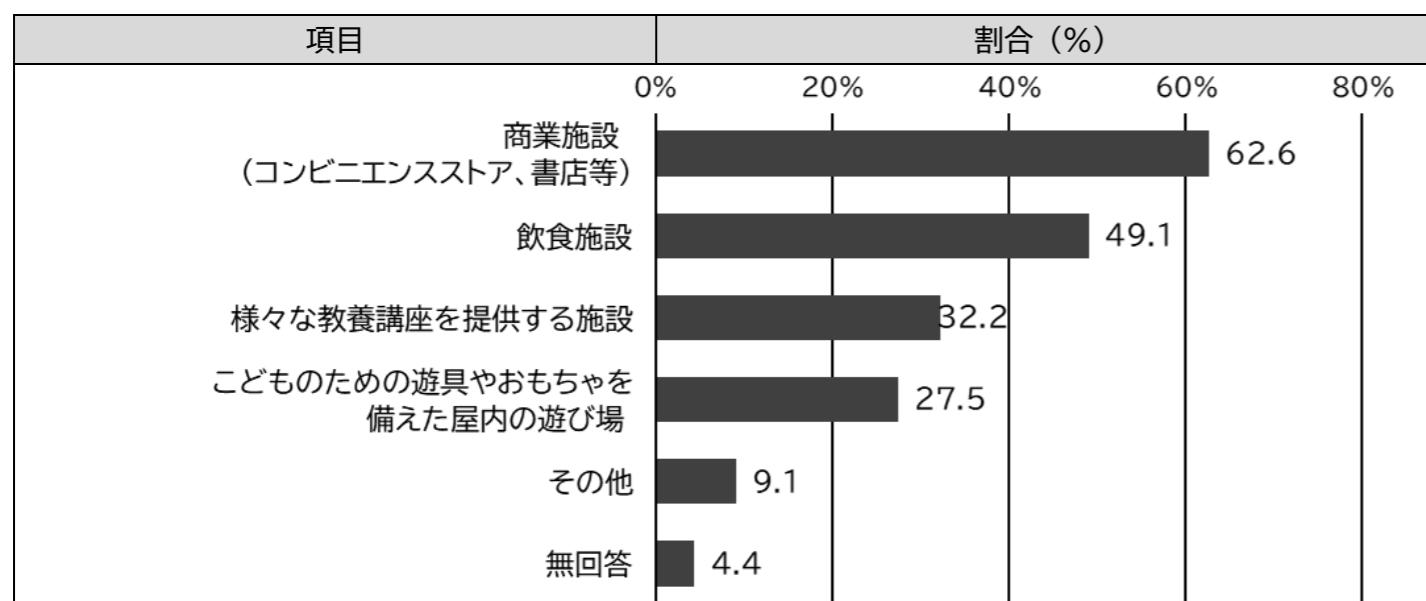
6. まちづくり機能として求められるもの

- まちづくりや賑わい創出のための要素では、「情報発信のための展示スペース」「休憩・飲食・談話等のためのスペース」「イベント用スペース」の割合が高い。
- 本庁舎等と一緒にみると便利な機能では、「商業施設」「飲食施設」の割合が高い。

(1) まちづくりや賑わい創出のための要素として特に重要なものの(n=6,499)



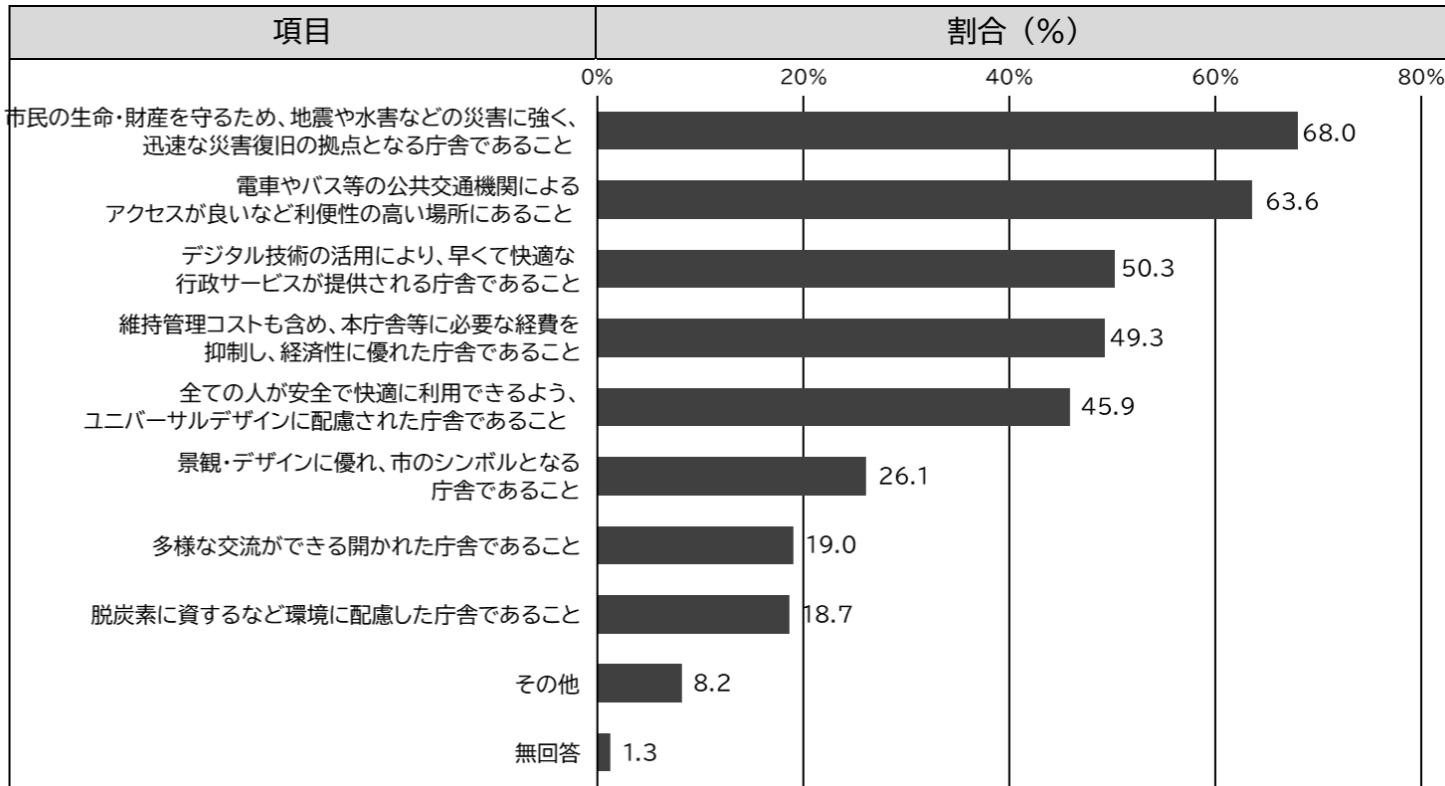
(2) 本庁舎等と一緒にみると便利だと思うものの(n=6,499)



7. 本庁舎等に求める要素として重要なもの

- 「市民の生命・財産を守るために、地震や水害などの災害に強く、迅速な災害復旧の拠点となる庁舎であること」が 68.0%で最も高い。
- 次いで、公共交通機関によるアクセスの良い立地、デジタル技術の活用による快適な行政サービス、経済性に優れていること、ユニバーサルデザインに配慮されていること、への関心が高い。

(1) 本庁舎等に求める要素として重要なものの(n=6,499)



8. 本庁舎等の在り方に関する自由意見

- 本庁舎等の在り方に関する自由意見の傾向を9項目に区分。
- いただいたご意見のうち、約5割が本庁舎等整備に関するもの、約1割が災害対応に関するものであった。
- 本庁舎等整備に関するご意見では、建替えについて肯定的または建替えを前提としたご意見が857件、建て替えは不要または慎重に検討すべきとするご意見が465件であった。

(1) 本庁舎等の在り方に関する自由意見(n=2,430)

分類項目	件数
1. 本庁舎等整備に関するご意見	1,702 件
建替えについて肯定的なご意見	504 件
建替えは不要とするご意見	384 件
建替えの際の建設地(移転先)に関するご意見	353 件
必要最低限の規模・実用的な庁舎整備を求めるご意見	112 件
慎重な検討・丁寧な説明を求めるご意見	81 件
それ以外の本庁舎等整備に関するご意見	268 件
合計	3,577 件

※ 複数の分類項目に該当する意見が存在するため、各分類項目の件数の合計は、自由意見記入者の総数(n)と一致しない。